

すなみ

登録番号：第1683号

登録年月日：昭和63年8月18日

登録者：杉原作平（岐阜県本巣郡巣南町17条30番地の1）

育成者：杉原作平

来歴：「富有」の枝変わり

特性

■栽培特性

樹姿は開張性で、樹の大きさは中位、樹勢はやや強である。枝梢はかなり太く、節間長は長い。葉の大きさは中程度で、葉身の着生角度は横向きである。雄花、完全花は形成されない。開花期は「西村早生」より2～3日遅く、「富有」とほぼ同じである。生理落果は少なく、成熟期は中位で、「富有」より約10日早い。「松本早生富有」より花芽の着生が多く、果実が大きく、成熟期が遅い。「富有」の枝変わりの「いさはや」より果実は小さく、果形が扁平で、甘味が多い。また、「西村早生」より果実が大きく、成熟期が遅い。

■果実特性

果実は扁平形（果形指数150）で「富有」、「いさはや」より扁平である。果実の断面は円で、大きさは平均330g程度で極く大きく、果皮は橙朱色で光沢である。果実の側溝、条紋、座はない。がく片はやや幅広で大きい。果肉色は橙で果肉の褐斑の大きさは小さく、密度は疎である。果肉の粗密は密で、甘味（糖度15～16%）は中位、渋味はない。子室数は8で、種子数は2～3個を有し、種子は方円形で、大きさは極く大きい。

■病虫害特性および栽培上の留意点

栽培法はほとんど「富有」と同じでよいが、特記すれば次の点である。

1. 栽植距離

土壤条件により異なるが、樹勢が強いので樹間は十分にとって栽植する。栽植距離は6～7mが望ましいが、計画密植の場合は早めに間伐をする。永久樹は10a当たり20～25本程度にする。

2. 整枝せん定

木の生長が早いことから主枝のとり方が重要である。特に主枝の分岐角度と裂枝に注意する。主枝分岐部のキマグラメイガの加害が裂枝の原因になることが多い。樹形は開心自然形がよく、作業の省力化から低樹高に仕立てる。せん定方法は「富有」と同じでよいが、花芽の着生がよいので、長い結果母枝では先端を2～3芽切除する。

3. 結果枝の調整

着蕾数が多いので着果過多に成りがちのため摘蕾、摘果に注意する。7～8月にも数回の見直し摘果を行う。成木園の10a当たり着果数は6,000果程度とする。特に大玉果になるため、結果枝の角度と枝折れ、風ずれ果の発生に注意する。

■地域適応性

成熟期は「富有」より10日程度早いですが、栽培適地は同じである。収穫期がずれることにより労力が配分化され規模拡大が可能となる。近年、果皮色が濃く、果実が大きく、さらに味のよい高品質果実が進物用として需要が多いことから、進物に適した品種といえる。

平成6年までに、岐阜県本巣郡を中心に40ha、三重県上野市で20haが栽培されている。

（棚橋武治）